

5つの柱で2期目の町政を担う、 前後公町長に抱負を聞く

私は、猪苗代町の発展と未来のために今後の4年間を次の5つの柱を中心に、スピード感を持って、公平・公正な決断をもとに行政を執行してまいります。

1 町民総参加の開かれた町政

○「町政出前講座」意見交流会など、町民の声を反映した分かりやすい町政

私は、これまでの4年間、多くの町民の方々からのご意見をお伺いし、町民参加型の町政を推進してまいりました。さらには、町政に対するご理解を深めていただくため、「町政出前講座」を行うとともに、「学びいな」などの各施設に「ご意見箱」を設置し、町民の皆さま方から貴重なお意見を寄せていただくことにより、町民の目線に立った行政に努めてまいりました。

今後、新たな気持ちで町民の皆さま方からご意見を賜わりながら、分かりやすく「開かれた町政」を目指してまいります。

○さまざまな分野への女性の登用推進

女性の登用は、男女共同参画社会の実現には不可欠であります。

拡大や雇用の場の確保にもつなげ、地域活性化、地域経済の発展にも大きく寄与できるものと確信しております。

合宿の郷づくり事業としては、陸上競技場の全天候型への改修や野球場の芝生化など環境整備を図ってまいりました。磐梯町、北塩原村との連携を強化し、大学などの合宿誘致による継続的な事業展開をしてまいります。

これまで本町において開催された「猪苗代湖ハーフマラソン」「うつくしまトライアスロンINあいづ」「磐梯まつり」「いなわしろ花火大会」「猪苗代新そば祭り」などの大型イベントについては、おいでいただく方々にさらに楽しんでいただけるよう工夫を凝らし、おもてなしの心を持ってお迎えし、イベントの定着化に努めてまいりたいと考えております。

○農産物や地域産品のブランド化、観光と農商工業連携の推進

国から農業を足腰の強い産業としていくための政策が打ち出されたことやT P P交渉の成立いかなんによつては、農業政策に大きな変化をもたらすこととなります。そのような状況下において、産地間競争はさらに激しくなることが予想されます。

町は、農業の振興を図っていくために、農産物のブランド化を重要な事業としてとらえ、「米」「そば」のブランド化を推進し、オリジナルキャラクターやロゴマーク、さらに

国におきましても、成長戦略の中核をなすものとして、全ての女性が活躍できる社会を創ることが重視され、女性の登用拡充の機運が高まっております。

開かれた町政の実現のため、今後とも各種委員会などへの女性登用を図ることにより、女性の声をより多く町政に反映させてまいります。

2 産業や人が集まり活気あふれるまちづくり

○多機能型「道の駅」・合宿の郷づくり事業・大型イベントの定着化による観光産業や地域経済の活性化
本年1月、「道の駅いなわしろ」は、国土交通省より重点「道の駅」に選定されました。

「道の駅いなわしろ」は、「ひと・もの・情報」をつなぎ、会津を、そして猪苗代を元気にする「道の駅」を基本理念に掲げております。

火山や豪雪などあらゆる災害に対応した防災拠点として、そして、会津の玄関口として広域的に的確な情報を受信・発信し、地場産品を味わいながら、農業と自然を体感できる地域連携機能も併せ持つ施設として整備を進めており、地場産品の販路

は販売用のオリジナル袋などの製作を行ってまいりました。また、地方創生交付金を活用し、「いなわしろ天のつぶ」の海外展開、良食味米の生産や地域農産物を原料とした六次化も推進すべく、専門部会も新たに立ち上げました。農産物のブランド化は、販売の拡大に伴い生産地がクローズアップされ、その相乗効果による観光客の増加にもつながるものと確信しております。

○定住化推進

町への定住を促進し、人口の増加と地域の活性化を図ることを目的とし、「猪苗代町定住促進事業補助金交付要綱」を、また、若者の定住化促進を図るため「猪苗代町民間賃貸住宅家賃補助金交付要綱」を制定いたしました。

人口の過疎化や少子高齢化が進み、住宅の空き屋の増加が深刻な問題とされている中、町に居住を希望する方々の一助となるよう、補助金を交付することとしました。人口が増加することにより空き家も減少し、ひいては防犯対策にもつながっていくものと期待しているところがあります。

○「淡水魚館」の再生や遊休施設の有効活用

「猪苗代町淡水魚館」は、愛称を「アクアマリンいなわしろカワセミ水族館」とし、ことし4月にリニューアルオープンしました。館内には、県内の希少な淡水生物を中心に猪苗代

道の駅・合宿の郷の整備で 町の活性化を図る

湖の環境保全をテーマとした体験型の展示をしており、教育の普及活動の一端を担う施設となることと期待されるところです。

また、旧町立病院は、地域福祉の向上および交流の推進を図り、町の活性化に資することを目的に、地域福祉交流センターとして生まれ変わりました。町民の皆さまの交流の場として、大いに活用していただきたいと思っております。

3 健全な行財政基盤の確立

私は、1期目の町政におきまして、国、県の補助金や交付金を最大限に活用し事業を行ってまいりました。

今後も情報を的確に収集・活用して経費節減を図り、組織や事業の無駄をなくしてスリム化・効率化を推進するため、国・県の補助事業や交付金を大いに活用し、町民優先の事業を行ってまいります。

4 未来を開く人づくり

○学校教育の充実、生涯学習・スポーツ・文化活動の支援

学校教育の充実として、子どもの学力向上に重きを置き、さらに子どもの学力や体力を引き上げる教職員、指導力強化のため、職員の研修、講師の招へいに力を注いでおります。また、「学びいな」や「和みいな」は、年齢や性別を超えて学習で

前後 公 町長

【Profile】ぜんご・ひろし

1941 年猪苗代町生まれ。日本大学東北工業高校(現日本大学東北高校)卒。61 年町職員に。商工観光課長、国体準備室長、水道課長、住民課長、議会事務局長、公民館長、生涯学習課長などを歴任。2011 年の猪苗代町長選で初当選。ことし6月に再選を果たした。翁島駅前在住、73 歳。好きな言葉は「和」

きる施設として町民の皆さま方にご利用いただいているところであります。今後も町民の皆さまの学習の場として、快くご利用いただけるよう情報を提供してまいります。

このたび、「県高校駅伝競走大会」が今後5年間続けて本町で開催されることが決定いたしました。今後は、「スポーツ振興宣言の町」として、選手の強化に力を入れ、選手のさらなる飛躍を目指してまいります。

国内では、社会のグローバル化に伴い、国際的な大会も数多く開催されております。国際社会に対応できる人材育成を図るとともに、本町の未来のための人づくりにも力を注いでまいります。

5 安全・安心住みよい暮らし

町では、安全・安心な暮らしを守るために、磐梯山ハザードマップの更新・防災無線システムのデジタル化などの整備をすることにより、防災対策の充実を図ってまいります。

さらに、原子力に依存しない、再生可能エネルギーによる災害に強いまちづくりを目指してまいります。

また、保健事業の充実による町民の健康づくりや第1子からの出産手当支給など、子育て支援や子育て環境の充実を図るとともに、地域密着型グループホーム入居者への家賃補助などのきめ細やかな福祉体制の強化に努めてまいります。